

令和4年度第3回さいたま市図書館協議会会議録

開催日時	令和5年3月20日（月） 10時00分～11時30分
開催場所	浦和コミュニティセンター 多目的ホール
出席者	（委員 ※敬称略） 馬場範明、大井睦、長束明美、加藤路子、二宮奈緒美、石川敬史、石井正、 原修、星野宏充、森裕子、安藤幸子 （事務局） 尾崎中央図書館長、森山中央図書館副館長、内田管理課長、 水澤資料サービス課長、大橋北浦和図書館長、望月東浦和図書館長、 馬淵大宮図書館長、大木大宮西部図書館長、長谷川春野図書館長、 中島与野図書館長、茅野岩槻図書館長、佐藤桜図書館長、高橋北図書館長、 藤村武蔵浦和図書館長
欠席者	（委員 ※敬称略） 川田倫世、関根規雄、吉野浩一
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人

次第

令和4年度第3回さいたま市図書館協議会

日時：令和5年3月20日（月）10時00分～
会場：浦和コミュニティセンター 多目的ホール

次 第

1 開 会

2 議 題

- (1) 「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について
- (2) 「第1期さいたま市図書館評価総括評価報告書」について

3 その他

4 閉 会

<配布資料>

- (1) 図書館協議会委員名簿 . . . (資料No.1)
- (2) 令和4年度さいたま市図書館名簿 . . . (資料No.2)
- (3) さいたま市図書館協議会 座席表 . . . (資料No.3)

<事前送付済み資料>

- (1) 令和4年度図書館の利用に関するアンケート集計結果報告書
- (2) 「第1期さいたま市図書館評価総括評価報告書（平成25～令和2年度対象事業）」について

とほぼ同じ割合なので、まだまだPRに力を入れていかなければならないと考えます。次に9ページになりますが問4「利用いただいた感想についてお尋ねします」ですが、全ての項目で87%を超える方が「満足」、「やや満足」と回答いただいております。また、「職員の対応や説明」の満足度が特に高いです。一方で「目的の本や雑誌、CD等の探しやすさ」の「やや不満」、「不満」の割合が他の項目と比べて高い傾向にあります。続きまして、10ページの間5「図書館の資料についてお尋ねします」ですが、資料がそろっていると思うかという問いに対して「思う」、「やや思う」と答えた人の割合は「知識を得るための資料」と「娯楽や気晴らしのための資料」の2項目において61%以上を占めました。11ページ問6「今後、力を入れてほしい取組について伺います」ですが、「所蔵資料の量の充実」、「所蔵資料の質の充実」、「予約・リクエストサービスの充実」が多くなっています。次に12ページになりますが、問7「その他、ご意見がありましたらご記入ください」という質問で、ご記入いただいたご意見を主旨ごとに私どもで整理したものです。次の13ページまでになります。総計が1,207件で、昨年度が総計1,100件でしたので100件ほど増えていることとなります。

続きまして、15ページからは、経年比較結果になります。令和2年度から令和4年度の3年間の推移を示しておりますが、さほど大きな変化はないように見られます。次に25ページからですが、「WEBアンケート集計結果の分析」になります。図書館ホームページから御回答いただくもので、質問項目は紙のアンケートと基本的には同じになっています。WEBアンケート独自の質問として、問3で最近利用した図書館を聞いています。御回答いただいた人数は1,059人で、昨年度は208人でしたので、大きく増えています。これは令和8年度までに、段階的にWEBアンケートの回答件数を増やしていくため、広報に力を入れた結果と考えます。細かな分析はしていないのですが、例えば27ページの間4「図書館をどのように利用されますか」の回答では予約をよく利用するという回答は90.1%と非常に多くなっています。また、電子書籍を利用するという回答も紙の回答より多くなっています。最後に34ページは「さいたま市図書館の取組について」ということで、大きく5項目を挙げております。アンケートで寄せられた御意見、御要望に個々にお答えするものではありませんが、図書館の取組をお示ししたものです。

なお、この報告書の公表は令和5年1月24日から2月20日まで図書館全館で行いました。ホームページのほうでは館内で公表終了後も見られるようになっております。以上を持ちましてアンケートの集計結果の報告とさせていただきます。ありがとうございました。

馬場委員長

はい、ありがとうございました。それでは議題の(1)『「さいたま市図書館の利用に関するアンケート」集計結果について』につきましてご説明が終わりました。

- 何か質問や御意見がありましたら、お願いします。何かありますでしょうか。
- 二宮委員 アンケートについて、あまりにも回収率が低いと思うのですが、こういった場合、例え回収率が少なくてもせっかくの民意なので反映するという事なのか、はたまたこのアンケートの回収率をいかに増やすという検討はされているのでしょうか。一番入館者の多い中央図書館が 26,000 人あまりに対して回収件数が 102 件、0.3%です。対して比較的多い春野図書館は 4,000 人程度の入館者に対して 417 件、10%の回収率。この図書館ごとの差はどういうことなのか、まずはアンケートをどのように告示したのかをお聞きしたいと思います。
- 岩槻図書館長 PRについては館内でポスターを掲示したり、ホームページでお知らせをしたりしています。回収の数については何とも言えませんが、昨年度までは各館大体目途を作って実施しておりました。しかし、今年度はそういったノルマを作ってお声がけはしていませんでした。
- 馬場委員長 中央図書館の例ですと 26,000 人くらいが用紙を持って行ってはいるということですよ。それが返ってきたのが 102 件と少ないとそういうことですよ。
- 岩槻図書館長 26,536 というのは入館者の数になりますが、そこに対する回収数が少ないということでしょうか。
- 二宮委員 ちなみに、経年比較表を見ますと、令和 2 年度は分母が 3,357 件、3 年度は 3,921 件、4 年度は 3,600 件ということで、大して 3,000 件から変わっていないということは、ここ 3 年間アンケートの回収率はあまり変わっていないということですよ。3 年前から回収に至る人の対策は練られていなかったということでしょうか。
- 武蔵浦和図書館長 武蔵浦和図書館長の藤村と申します。アンケートの回収に関しましては、来館者全員にお配りしているものではなくて、記載場所を設けまして、回答していただいておりますので、半ば強制的にお願いするなどといった形ではやっております。そのため、関心の高い方からアンケートの回収をいただけているという形になります。そしてアンケートの効果としてやはり 3,000 件ぐらいいは数がないとアンケートとして評価ができないのではないかとこの一つの目安として 3,000 件以上を回収するように努めておりますので、申し訳ありませんがそれ以上というところまで力を入れてきたかというところ、力を入れていないところではあります。一つの目標としてアンケートの回収について 3,000 件を目安にしているところがございます。この 3 年間回収総計が変わっていないというところではございますが、それ以上に回収率を上げるという努力が十分あったかということを指摘されますと回収目標数に辿り着いているので、それ以上のところは力が入っていなかったというのが正直なところでございます。
- 馬場委員長 いかがでしょうか。なにか特別に回収率をあげるような方策というような話も出ておりますがそれについてはなにかありますか。
- 資料サービス課長 アンケートの回収につきまして、今はまだコロナの影響というのがありまし

て、積極的に利用者の方にお渡しするというのができないということがあり、どうしても件数が少なくなっているということではございます。あとは、まだ少ないですけども今回だいぶ増えましたWebアンケートのほうに移行をしていこうということで担当は考えております。ご理解よろしくお願ひいたします。

二宮委員

同じコロナというなかでも春野図書館は10%の回収となっております。その結果回収率が一番高いのが見沼区在住、確か春野図書館、大宮東、七里、片柳は見沼区ですね。ですから結果的に、見沼区の回答が一番多いということで、春野でできたことがなぜ中央図書館でできないのでしょうか。

馬場委員長

春野図書館や、見沼区内の図書館でなにか特別なことはされているのでしょうか

春野図書館長

先ほど資料サービス課長の説明にもありましてとおり、この時期は来館者、利用者、イベント参加者等に対して紙を手渡すということを控えておりました。用紙を置いておいて、記入をするという意味を持った方に記入をしていただくという形をとっております。なるべく記載場所を分散すべきということもありましたので、春野図書館と見沼区の他の3館では用紙を複数に分けて置くことを始めました。また、イベントの参加者に手渡すということはありませんでしたが、イベント等の挨拶もしくは注意事項の折にイベントに対するアンケートとは別に利用者のアンケートも行っておりますという一言を申し添えました。このやり方で結果が出たかはわかりませんが、他の図書館と情報共有できなかったことは大変心苦しく思っております。今後は情報共有に努めていきたいと思っております。

馬場委員長

見沼の図書館は何かありますでしょうか

春野図書館長

見沼区には図書館が4館ございまして、春野図書館が4館を主管しているという形になっております。他の3館も同じでして、ただ大宮東図書館のように極めて狭隘なところは思うように場所を増やしたりはできなかったということをおし添えておきます。

馬場委員長

アンケートをもらってもそれを書くのにも手間がかかるので、なかなか関心のある人しか書かないというところもあるかもしれません。今回はコロナ禍の影響なども散見されるようすがいかがでしょう。

二宮委員

承知いたしました。春野図書館長からありましたとおり、できましたら図書館全体で情報共有して、3,000件ぐらいあればいいだろうではなくて、もう少しアンケートとしての信憑性のためには母数を増やしていただく努力を今後していただければと思います。ありがとうございました。

続けてもう一件よろしいでしょうか。「住まいについてお尋ねします」ということで、区ごとの回答者になります。先ほど何年かからは図書館ごとの集計はやめたとのことですが、知りたいのは例えば中央図書館には何区の方がいらっしゃるのか。中央図書館自体は浦和区ですが地の利と申しますか、便利な

ことから私も中央区ですがしょっちゅうお世話になっております。わずか0.3%の回答率ではどうしようもないかもしれませんが、できましたらそれぞれの図書館が何区の方に利用されているのか、またその理由。便利だとか大宮図書館のように夜9時までやっているとかそういったところまで分析していただくとよりアンケートがわかりやすくなるのではないかと思います。ちなみにいま図書館ごとでの集計はされてないということですが、少なくとも発表にはなくても図書館ごとで回収した数の中が何区から来ているかということは一応記録としてはあるのでしょうか

馬場委員長

いかがでしょうか

岩槻図書館長

記録としてはもちろん持っています。今回の集計をやめたというのは、前々年度の方針で決めていったことになりますけれど、そういうご意見があったということで、検討しなければいけないかなという気もしております。

馬場委員長

何か補足するようなことがありますでしょうか

武蔵浦和図書館長

昨年ご質問で出ていたクロス集計について、来年度実施するべく研究を進めておりますので、何区の方がどの図書館を使っているかというのはそのクロス集計の部分で解析ができるのではないかと考えております。

馬場委員長

ちなみに、そのクロス集計というのはどのようなやり方なのですか

武蔵浦和図書館長

私もまだ勉強中ですが、アンケートの結果などの複数のデータを色々な切り口で見直して、単純に出てきた数字だけではなくて、別の見方ができるように組み合わせていくという形になります。その中で、何区の方がどの図書館を使っているかというのもその集計で出てくるのではないかと考えております。

馬場委員長

ありがとうございます。二宮委員いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは他に何かありますでしょうか。

石川委員

アンケート集計結果について、質問させていただきたいのですが、令和3年度にも発言させていただいたので重複してしまい、時間のない中恐縮ですが、3点気になったところがあります。1つ目がアンケートの目的っていうのは何でしょうかということです。すなわち、令和3年度のアンケート結果が出たことによって、どんなサービスの改善が行われたのか、というところが気になりました。アンケートを行うことが目的ではなくて、図書館サービスの向上に向けたアンケートなのであろうと思います。少し気になったのが、令和3年度のアンケート結果を踏まえて、こういうところが少し改善したという代表的な例があれば教えていただきたいということが1点です。

2つ目が、今ご質問がありました、来館者調査ということになりますので、やはり図書館に関心のある方とか、図書館のファンというのでしょうかね、そういう方が書いていらっしゃる。その中でもアンケートに関心のある方と考えると、利用者満足が非常に高いものになるというのが、必然的な結果なのかなと思っています。すなわち、図書館になかなか足を運ばなくて、図書館のことについてあまりご存じでない市民の方とか、そういった潜在的な利用者に対す

るアンケート調査は今後やる必要があると思っています。その辺りの展望を教えてくださいたいというのが2つ目です。

3つ目が先ほどクロス集計というお話がありました。昨年も私が質問させていただきましたが、各地区館、分館ごとにアンケート集計がなされていたので、それぞれの座席利用でありますとか、予約の受け取りが館ごとにデータが違っていたわけです。その中からクロス集計がもしできるのであればご提案をさせていただきましたが、今年は分館ごとのデータがありませんでした。ただ、やはりクロス集計というのは非常に重要なので、令和5年度にこういったアンケートを取られるのであれば、クロス集計を含めた形での報告というのをできればいただきたいなと思っています。

例えば、電子書籍を利用しないという回答数が非常に多かったわけです。来館者アンケートですので、電子書籍を利用する回答が非常に低いわけですが、その方の属性というのは、何歳代なのかとか、利用者満足はどうかとか、どこの図書館を使っているのかとか、もう少しサービスの向上とかこれからの図書館活動を進めていくにあたっての切り口でクロス集計というのをなさっていくといいのかなと思っています。長くなりましたけれども3点質問になります。

馬場委員長
岩槻図書館長

3点について、いかがでしょうか

アンケートの目的はもちろん利用者の満足度を把握してサービス向上のための基礎資料となっておりますが、具体的に何を改善したというのがまだできていないのは本当に心苦しく思っております。

2番目の来館者に対するアンケートであるため満足度が高いというのはそのように実感しているところではあります。毎回ご指摘いただくとおり、図書館に来ない方に対するアンケートを何かできないかというのは、考えてはおりますが、手間や費用などがなるべく掛からないように実施できる方法はないかと研究はしているところです。まだまだこれからかなと思っています。現状では、図書館ビジョン等の作成の資料としてそれに合わせて実施するのが妥当かなというところはありまして、実施に向けて引き続き研究していこうとは思ってはおります。

3点目のクロス集計については、昨年度もご指摘いただいているとおり、サービスの向上に役立つようにしていければいいかなと考えてはおりますが、来年度には実施に向けていきたいなと思います。

石川委員

はい、ありがとうございます。アンケート調査、集計が大変だろうなと存じ上げておりますが、昨年度のように地区館ごとにデータがあるとそれぞれの図書館が相対化されたり、ほかの図書館とどう違うのかというのを見てくると思うので、やはり図書館サービスの向上を考えていくと地域館ごとに集計結果が出ていたほうがよく見えるのかなと思ったところです。

あと、非来館者の調査ですが、例えばこういった定量的な調査だけではなく

て、インタビューなどから始めていくというのも比較的やりやすい方法なのかなと思ったところです。ありがとうございます。

馬場委員長

ありがとうございました。図書館に足を運ばない人に対するアンケートをどうするかという非常に難しい問題があるわけですが、無作為に書面をある一定の人に出すのもなかなか現実的に難しいなという考えもあります。あと学校と連携して何かをやるということもなかなか難しいということはあるかと思えますけれど、皆さんで知恵を出しあって良い方法があるか検討をしていただければと思いますが、そんなところでどうでしょうか。

それではですね、だいぶ時間が押してきましたのでこの問題につきましては以上にしたいと思います。特に何か個別にあればお伺いしますが、この問題につきましては、ご承認いただけたということによろしいでしょうか。

各委員

(特に意見なし)

馬場委員長

ではまた引き続き検討していただくということで承認ということで議事を進めたいと思います。

2 議題

(2)「第1期さいたま市図書館評価総括評価報告書」について

馬場委員長

では次に、議題(2)「第1期さいたま市図書館評価総括評価報告書」につきまして、説明をお願いします。長くなるようでしたら、着席していただいたままで結構です。

春野図書館長

はい、それでは第1期さいたま市図書館評価総括評価報告書につきまして、図書館評価専門部会の部会長を務めております春野図書館長の長谷川から説明させていただきます。着席で失礼いたします。

あらかじめお送りしております第1期さいたま市図書館評価総括評価報告書、以降は報告書と言わせていただきます、をご用意いただければと思います。なお、令和3年度の図書館事業等に関する図書館評価の報告につきましては、前回第2回の図書館評議会でご提示いたしまして、委員の皆様にご意見等いただいて、公表したところでございます。

それでは今回の報告書につきまして、まず構成と内容についてご説明いたします。1ページ目ですけれども、さいたま市図書館ビジョンと図書館評価の関わりについて記載しております。2ページ目から7ページ目までが、評価の総括と課題を記載しております。8ページ目には令和4年度以降の図書館評価について記載しております。9ページ以降は参考資料ということを掲載しております。参考資料ですけれども、まず9ページから18ページまでは、平成25年度から令和2年度までの第1期さいたま市図書館評価で取り上げた指標の年度ごとの目標値、実績値、指標別評価、実績値の増減を指標別に表で掲載しております。19ページには図書館法及び図書館の設置及び運営上の望ましい基準の中で図書館評価に関する箇条を抜粋して掲載しております。20ページから23

ページにはさいたま市図書館の運営に対する評価の実施にあたって掘りどころとなっておりますさいたま市図書館運営状況に関する評価実施要項について掲載しております。最後の 24 ページには第 1 期さいたま市図書館評価のもととなっているさいたま市図書館ビジョンを掲載しております。

こちらの報告書ですけれども、平成 25 年から令和 2 年度の事業を対象として、8 年間実施してきました第 1 期さいたま市図書館評価をさいたま市図書館ビジョンで挙げた 4 つの目標ごとに総括したものになります。

限られた時間でございます。主な箇所についてのご説明になりますことご容赦いただきたく存じます。

では、1 ページ目お願いいたします。こちらのページでは、さいたま市図書館ビジョンと図書館評価の関連について記述しております。第 1 期さいたま市図書館評価は、さいたま市図書館ビジョンに挙げた 4 つの目標と 22 の基本方針に基づき、評価目標と評価目標を評価するための指標及び目標値を年度ごとに定めて、対象年度事業の実績値と比較して、その達成度を測ることで評価を行ってまいりました。

次に、2 ページをお願いいたします。第 1 期さいたま市図書館評価の総括と課題ということで、2 ページから 7 ページにかけて 4 つの目標ごとに、約 50 項目の指標の中から主な取り組みを取り上げて事業の総括その成果・課題を記述しております。具体的に触れてまいります。

2 ページの「目標 1 知的好奇心に応える図書館」から説明いたします。説明の中に出てまいります各年度の目標値と実績値につきましては、9 ページから 11 ページまでの指標ごとの表をご参照いただきたく存じます。新規登録者数につきましては、毎年度、概ね 3 万人前後の方に登録していただいております。令和 2 年度に関してはコロナ禍ということもございまして、2 万人程度となりました。書籍の所蔵タイトル数、図書のタイトル数は平成 25 年度から令和 2 年度までに約 18 万件以上増加しております。これにつきましては、さいたま市図書館全体として図書のタイトル数を増やすということを視野に入れて選書選定会議を行っているということでございます。また、平成 27 年度からは、電子書籍の提供を開始しております。図書館ホームページの充実を継続して行ってまいりました。特に令和 2 年度はコロナ禍の中、来館がままならない状況の皆さんが多くいらっしゃることに応えるために、よりコンテンツを充実させました。成果としては、毎年新たに 3 万人程度の方に図書館サービスの提供を行うことができたこと、そして幅広い資料が活用できる環境となったことなどが挙げられます。課題といたしましては、登録者の伸び悩みの解消、住民イコール利用者ではないこともございまして決して市民の中でほとんどの方が利用しているという現状ではないということ。あとは図書館資料の更なる充実等が挙げられます。

次に同じ 2 ページですけれども、「目標 2 生きる力を支える図書館」につい

て説明をいたします。説明の中に出てくる各年度の目標値と実績値につきましては、同じように12ページから14ページの指標ごとの表をご参照いただきたく存じます。市民が求める資料や情報提供するレファレンスサービスは平成30年度の約13万1,000件をピークに令和2年度は7万2,000件に留まっております。コロナ禍の影響で対面での受付件数は減少しております。それでも、図書館に来館せず利用できるメールレファレンスの受付件数は増加傾向にあり、倍近い数となっております。また、全館で23種類のオンラインデータベースを契約して、最新の情報の提供に努めております。バリアフリーサービスにつきましては、録音図書、点字図書、大活字本等の資料を所蔵・提供しております。また、ボランティアの皆様の御協力により、点字点訳絵本の作成、対面朗読の実施など幅広いサービスの提供を実施してまいりました。長束委員には本当にいつもお世話になっております。お礼を申し上げます。他にも、子ども向けの行事の実施、子ども向けの資料案内の作成、ブックリストですとか、図書館の使い方・調べ方などの刷り物ですね。読書の楽しみを伝えることを目的として実施しているテーマ資料展示の実施など幅広いサービスの提供に努めてまいりました。成果といたしまして、市民にとって課題解決につながる環境が向上したこと、利用に障害のある方も積極的に利用できる環境になったこと、各種行事を通じて図書館に親しみを持ってもらったこと、各種発行物を通して本の魅力を伝えることができたことなどが挙げられます。課題といたしましては、図書館に来館することができない、もしくは来館しない方へのアピール・PRやサービス提供の強化、利用したことがない方への同じようにPRの強化、また、レファレンス事例の蓄積の継続などが挙げられます。

次に5ページをお願いいたします。「目標3 市民とともに歩む図書館」について説明をいたします。説明の中に出てきます各年度の目標値と実績値につきましては、15ページから16ページの指標ごとの表をご参照ください。ボランティアとの連携事業の実施回数については、概ね700回前後で推移しております。これは加藤委員や二宮委員を中心にお世話になっておりますけども、おはなし会の開催などがございます。また、図書館以外の機関と連携することで、図書館だけでは行えない幅広いサービスが生まれてきております。例えばですね、森委員のいらっしゃる小学生の図書館見学、あと安藤委員の中学校の職場体験ですとか、そういった機会を充実させることによって、たくさんの児童・生徒が図書館に親しむことができる場を提供してまいりました。成果といたしまして、他部署機関との連携が進んで、図書館サービスに広がり生まれております。また、職場体験・見学の充実により児童・生徒が図書館に親しむ機会が増えたことも挙げられます。コロナ禍で減っていた見学や職場体験も従前どおりの回数に増えてきているように思います。課題といたしましては、広がった図書館サービスを市民生活の向上につなげていくこと、如何につなげていくかということです。それと市民との協働事業から、世代を超えた交流につなげ

ていくための仕掛けづくり、なにか図書館が仕掛けづくりに関わればというところがございます。

次に6ページをお願いいたします。「目標4 誰もが安心して使える図書館」について説明いたします。説明の中に出てきます各年度の目標値と実績値につきましては、繰り返しになりますが17ページから18ページの指標ごとの表をご覧ください。市民により良いサービスの提供を行っていくために図書館内で「レファレンス研修」、「児童サービス研修」等、通常業務にかかわる研修を資料サービス課中心に図書館職員が講師を務めて継続して行っております。また、所属内研修以外にも、文部科学省、日本図書館協会、埼玉県図書館協会が主催する外部の研修に積極的に参加し、また講師を職員が務めることもありまして、職員の資質向上にさいたま市の図書館として努めております。その他に市内の図書館の修繕を順次行い、快適で安全・安心に利用できる施設に改善してきております。また各図書館、それぞれの図書館が消防訓練、防災訓練、避難訓練を継続して実施しております。成果といたしましては、各種研修を通じて職員の資質が向上することにより、質の高いサービスの提供に努めたこと。設備の更新により、快適で安心・安全に利用できる施設になったことなどが挙げられます。課題といたしましては、今後も途切れることなく研修を継続して行い、職員の資質向上に努めること。経験の蓄積に加えまして、施設の安心・安全な環境の確保を継続していくことなどが挙げられます。

最後になりますが、8ページをお願いいたします。こちらには令和4年度以降の図書館評価について記載しております。今年度から第2期図書館評価が既に実施しております。11月に開催された第2回の図書館協議会で皆様から貴重なご意見をいただいたところがございます。第2期図書館評価では、「さいたま市図書館ビジョン（第2期）実施計画 前期」に基づいて実施しておりますけれども、先ほど取上げた課題についても、当実施計画に記載されている「今後の取組みの方向性」などで触れております。この第2期図書館評価においても、評価を行うことが目的ではございません。評価した結果を翌年度の事業、もしくはそれ以降の図書館の運営に反映させるということ、これにつきましては今回報告書を出させていただきました第1期図書館評価と全く変わるものではございません。図がありますけれども、これは「さいたま市図書館ビジョン（第2期）実施計画 前期」の進捗管理を、いわゆるPDCAサイクルで表したものです。図書館評価はこのうちのC「Check」の部分を担当作業となると認識しております。今後も進捗管理の一環として、さいたま市図書館のサービス向上に資するように図書館評価を行ってまいりたいと思っております。

以上で第1期さいたま市図書館評価総括評価報告書についての説明を終わらせていただきます。駆け足になりました。また、時間が長くなりましたが、ご清聴賜りましたことに御礼申し上げます。どうもありがとうございました。

馬場委員長

はい、ありがとうございました。それでは議題（２）「第１期さいたま市図書館評価総括評価報告書」につきまして、説明が終わりました。なにかご質問やご意見等がありますか伺いたします。石井委員。

石井委員

はい、石井でございます。２点お伺いしたいと思います。その前提として、令和４年度のアンケート結果を見て、やはり６０歳以上の方の来館が半分だということをどう評価したら良いのか少し迷っておりますけれど、一方でさらにまだ私たちの世代と若年層の間のデジタルデバイドという問題があって、図書館の運営としてはどちらに軸足を置くべきか迷っておられて大変難しい対応をされているということに対して、感謝したいと思います。１つ伺いたかったのは、市民とともに歩むというところですけど、もう少し子供だけでなく、さらに勤労者世帯のような方も取り込んでいけるような取り組みをされたら如何かと。具体的には思い付きで申し上げますけれど、例えば自治会または自治会連合会というところとタイアップしてボランティアをそこから募ると。図書館のファンを増やすためには、まず図書館を知ってもらうということが大前提になりますので、自治会との連携ということを工夫されたら良いのではないかと思います。２点目ですけど、これはデジタルデバイドの問題があって難しいという前提でお話をいたしますけれど、やはりホームページでのアクセスが令和２年度から３年度ですか、１．３倍になったと。今後もっとスパイラル的に増えていこうと思います。それに対して、ホームページに対する評価というのが今一つであったというのが令和４年度のアンケート調査結果から見えてまいりますので、ホームページでこういうことができますというのをPRし、かつ一方でホームページを充実させるための内部努力に力を入れていただければと、少し大雑把な２つの質問ですが以上です。

馬場委員長

これにつきまして、いかがでしょうか

資料サービス課長

まず、ボランティアについて自治会と連携してというお話をいただきました。図書館のボランティアは全ての館ではありませんが、図書館ボランティア友の会がございまして、今は本の配架ですとか、本の修理ですとか、図書館を会場にしての催し物などで、活躍をさせていただいております。既存のボランティアグループと新しく自治会連合会とのボランティアの呼びかけというのをどのように調整していくかということもありますので、検討課題とさせていただきます。それから、ホームページの件ですが、今年度ホームページのコンテンツについて、いろいろと新しく変えております。特に地域の資料についてのホームページは新しく情報を増やしまして、写真等も増やして見やすくしております。その効果が来年度のアンケートに出てくれればうれしいなと考えているところです。以上になります。

春野図書館長

石井委員ありがとうございます。先ほど指摘がございましたアンケートの回収率とも関係するかもしれませんが、来館者数と回収数の差異がかなり大きなところというのは、座席が多い図書館と見受けられます。座席を利用している

若年層が一定数おるのは実感としてわかってはおりますが、アンケートの結果としては年齢的に上の方の世代に偏ってしまうのかなと思います。石井委員のご指摘のとおり、ビジネスに役立つ、人によっては医療情報を使う、人によっては育児に役立つとかそういったことを図書館としていかにアピールしていくかということが大事なのだろうなというご指摘の通りでございます。また、見沼区の一部の図書館ですが、自治会だよりにはおはなし会の案内を載せていただくようにいたしました。まだ自治体の全体ではありませんが、これにつきましては図書館でおはなし会をやっているとか、児童生徒の中には本は高いと思っているけれど図書館だと無料で借りられるというように、調べ物のお手伝いや、図書館をいかに使いこなすかということとはまた別に、例えば図書館ではそこにはない本を取り寄せて順番待ちができますとかそういったことをアピールしていく必要は委員指摘のとおりだと思います。すぐに自治会というわけではないですが、公民館だよりは自治会に回覧されておりますので、今年度から賑やかしの場の公民館と静謐な読書環境の図書館でコラボレーションをする、連携することで新たな学びの場の創出に力を入れているところなので、そういったところでもこれから検討していく必要があると思います。

馬場委員長
大井委員

よろしいでしょうか。他に何かありますでしょうか。

石井委員の発言を拝聴いたしまして、やはり半分以上が60歳代以上だということ。デジタルに若い世代よりは馴染みがないという方が多いだろうなということ。そこにやはり従来の形のサービスをもう少し傾注していただきたいなと思うことと、改めてこの数字のグラフを見て思いますのは、万一の時に一番多く来ているこの世代をどのように誘導して安全を確保するかということが少し気になります。確かに、お元気な高齢者が多いなという印象がいつ来てもいたしますが、有事の際にどれだけ、例えば目も耳ももしかしたらあまりお元気ではない方がいらっしゃるかもしれませんので、その辺の対策は怠りなくお願いしたいと思います。やはりこれまで出たご意見を聞いておりますと、非来館者へのアンケートはやはり急いでいただいた方がよろしいと思います。旧来のように図書館は本の好きな人が行くところという考えが根強くあるのか。それとも物理的な条件で遠くてどの館にも行けないよという方が多いのか。その辺のことをもう少し探ったほうが、解決策が見えてくることがあるようにも思われます。それとですね、電子書籍というのは安くはありません。メンテナンスの費用なども掛かります。ドライに費用対効果を求めるわけではありませんけれども、そこに力を入れることに私は賛成いたしかねます。最近SLA全国学校図書館協議会の何かの報告だったと思いますけれども、子どもたちの声としては、紙の本のほうがワクワクするという声が多かったということを知っておりますので、その辺もぜひ考慮していただきたいと思います。それとやはり申し上げたいのは、コロナ禍のこの中で、数字だけを見ますと確かに最前線であるということ、従来の業務に加えて非常にお気遣いの心労もたくさんあつ

たと思いますけれどもよくやってくださっていると思いますのでお劳いしたい
と思います。それと自治会との連携というのは非常に正直新しいことござ
いまして、ぜひ進めていただきたいと思います。今日の資料には出ておりませ
んがどうしても申し上げたいのは、児童書の質の充実をお願いしたいというこ
とです。児童書をどのように蔵書構成するかというのは一般書とは少し違うの
は職員の方でしたらよくお分かりになると思います。まず中心にどんなに時代
が変わっても基本的な図書としてこれは読んでほしいというものを必ず置いて
おく基本図書という円がありまして、その円を囲むように時間が経てばその
中心の核になる円に入るなという図書。そして一番大きな円としてまだ本に馴
染みのない子供にも本への取っ掛かりになるようなどちらかと言えば軽めの
読みやすいものという三つの円があって、図書館の基本的な蔵書構成となる
というのはご存じだと思いますけれど、核になる部分はこの図書館でもあってほ
しいと思います。こんなに大事な本なのに全館のうち何館にしかないというの
は少し子供の読書を推進するという面でも弱いのではないかと思いますので、
来年度はぜひお力添えをいただきたいと思います。それと感じておりますの
は、中央館にぜひローカル展示をもっと心掛けていただけないか。このアン
ケート結果が公表されたそうですけれども、市民にとりましては数字がどう
なった増減したというよりも、このアンケート結果を踏まえて、来年度はどう
してくれるのだ、どのようにしてくれるのだということが一番気に掛かるところ
ではないかと思うのですね。わかりやすくその辺を広報して、さらに利用者
を増やすということをお考えいただきたいと思います。初めて図書館に来てみ
たら、こんな展示をやっていたよというのが必要だと思います。最近浦和駅の
構内で、さいたま市内のいろんな展示を小さいですけどやっておりますので
図書館負けないでという思いもございます。それから、若い人でしたら写真映
え「ばえる」ところはどこであるとか、図書館行ったらこんな展示をやった
よというような新しいファン層を増やすためにもお考えいただきたいと思
います。やはり図書館に来れば、何でもわかる、こんな楽しいことがあるとい
う点をもう少し数字に傾注するのも大事ですけれども、お力を入れていただき
たいと思います。私事ですが30年以上現在の住所に住んでおりますが、
新年号の確か市の広報か地域の公民館の何かをたまたまじっくり読んでおり
ましたら、近くに鎌倉街道の枝道があるというのを初めて知りまして、どこを
私は見ていたのだろうと。ここを坂東武者が駆け抜けたのかと非常に歴史ロマ
ンといたしますか、そんなことを感じたりいたしまして、では図書館に行ってそ
の辺の地域の歴史を借りてこようかなと思ったりするわけです。市の観光担当
など自治体をはじめ、いろんなところと連携して、「あ、こんなことも図書館」、
「あ、こんなところも図書館」と市民の方に思っただいて、利用者を増や
していただく努力をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。お
答えは特に結構ですので聞いていただければと。

馬場委員長 貴重なご意見をたくさんいただきまして、ありがとうございます。時間が押しておりますので、まだ議論が尽きませんが、この辺りで締めたいと思います。いろいろ課題もあるようですが、随時検討していただくということにしたいと思います。議題2につきまして、大井副委員長からのお話を総括とさせていただきます。ご承認いただけたということで、よろしいでしょうか。

各委員 (特に意見なし)

馬場委員長 それでは議題2につきましても、本協議会で承認いたします。

3 その他

馬場委員長 それでは本日予定していましたが議題は以上で終了いたしましたけれど、事務局の方から何点かあるようですので、お願いいたします。

管理課長 事務局から一点、連絡をさせていただきます。次回、令和5年度第1回図書館協議会の日程につきましては7月に予定しておりますのでよろしくお願いたします。

以上でございます。

馬場委員長 その他、委員の皆様の方から他に何かご意見等がございますか。

森委員 小学校校長会の方から参加させていただいております。いつもお世話になっております。三点ほどお伺いします。一つ目、先ほど春野図書館長からもお話があったとおり小学校2年生で図書館見学を実施している小学校があるかと思っております。今年度引率しまして、図書館のある暮らしっていいなと感じ、小さい頃から慣れ親しんだ図書館に行くと、私自身もうきうきしますし、子どもたちも大変喜んで、一歩足を踏み入れた時からもう目を輝かせておりました。その機会がぜひ子どもと親が図書館に通うきっかけになればいいなと思いましたが、お忙しいところ、休館日にご対応いただけてそれだけでもありがたいのですが、様々なイベントなど、エプロンシアターとか読み聞かせとかを子どもたちに披露していただいたり、ここに座って自由に読んでいいよと本を手にとらせていただいたりとか、こちらとの打ち合わせでいかようにもなるかと思うのですが、見学の時の中身が非常に淡々としていて、もっと広報活動的にやっていただけたらありがたいかなと感じました。それから二点目は、さいたま市の教員は任意団体で教育研究会というのがありまして、その中に学校図書館専門部というのがあります。私はその部長をしておりまして、さらにその部長は、埼玉県为学校図書館協議会の総務部があて職になっておりまして、その部長もしております。感想文・感想画コンクールの担当をしておりまして、学校図書館教育の推進に努めているところですが、11月にあるさいたま市の市教員の研修大会で、このところいろんな図書館にお世話になっております。昨年度は北図書館にお世話になりまして、大変ありがとうございます。先生方もさいたま市の図書館を知らない若い人たちがたくさん入ってきておりますので、今後もさいたま市の図書館を会場にした研修会というのを開いてまいりた

と思いますので、引き続きご協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。三点目ですが、市役所前にカフェがありまして、そこの方が、長きに渡って紙芝居の活動をされていて、国際的にも非常に活発な素晴らしい活動をされている方です。その方からご高齢になられて紙芝居をはじめとしたたくさんの資料がありまして、これをどうしたものかというご相談を受けまして、そういう方がいらっしゃるといふことで、どこかで繋がっていただけたら大変ありがたいなと思ひこの場をお借りしてお知らせさせていただきます。以上です。

馬場委員長

その件につきましていかがでしょうか。

資料サービス課長

学校の見学でイベントなどの広報的なことをもっとというご希望をいただきました。館によって学校のどのくらいの人數でどのくらいの時間というこゝを伺って内容を決めておりますので、イベントなどをやっている場合もござひます。ご希望がありましたらその館にお申し付けていただければ、できる限りのことは行いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。それから、市役所の近くの方の紙芝居の件ですが、どういったものをお持ちなのかなども聞いてみないとこちらで有効的に使えるのかどうか、または保存できるのかどうかわかりませんので、情報いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。研修会の方は、お早めにお声がけをいただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。

馬場委員長

はい、ありがとうございました。

大井副委員長

ただいまの森委員のご意見とてもうれしく拝聴いたしました。やはりあの手この手で子どもと本とを結び付けたいと思ふ学校側と公共図書館側と我々と何かしらできることは何でもやっていきたいと思ひます。図書館協議会についていつも思ふのですが、子どもへのサービスについての話題が少ないような気がいたします。子どもと本とをよりよく結びつけるというのが、公共図書館の児童サービスと言われる分野の目的ですが、そこでどんなことをやっているか、前回の時にLLブックの話が出ましたらすぐに現物を持ってきて回してくださいましたよね。それと同じで、例えば図書館でこんなサービスをしている。絵本の読み聞かせは2000年以來大ブームですからともかく、ストーリーテリングという子どもへのサービスを協議会の委員さんたちは全員聞いたことがありますでしょうか。一つのお話を丸ごと覚えて何も見ずに子どもたちに語って聞かせるということ。これは大変訓練のいることです。それとエプロンシアター。これはぜひ次回はこちらでご披露いただけないでしょうか。実は私が現役の図書館員だったころに館長に命じられて、協議会でストーリーテリングを披露したことがあったということをお返ししました。ぜひご検討いただければと思ひます。子どもはそこから本に結びついたりします。また耳からだけ聞くというのは非常に新鮮な、またエプロンシアターというのは幼い子には非常に楽しいものですがどちらも、このように職員は対応しているのだということをご理解いただくことへの一助としてもぜひお考えいただければと思ひま

す。よろしくお願ひします。

馬場委員長

ちなみにエプロンシアターというのはどういうものでしょうか

資料サービス課長

演じる人がエプロンを着けるのですが、そのエプロンを舞台にして登場する人だったり動物だったりそういった布人形的なものを貼りつけたりとかポケットから出したりとかポケットの中に入れて隠したりとかそういう技を使いながらお話をしていく人形劇に近い感じと考へていただければよろしいかと思ひます。次回の協議会のできるかどうかはわかりませんが検討はさせていただきます。

馬場委員長

はい、ありがとうございます。では一層の子どもや児童へのサービスの検討もよろしくお願ひいたします。

他に何かありますでしょうか。時間の都合であと一問程度とさせていただきます。

石川委員

一つが先ほどの評価の件で春野図書館長からもお話があつて、これだけの分量もあつて大変な作業で、一点に分館ごとの特質をどう見るのかというのが非常にポイントかなと思ひています。先ほど各館ごとの蔵書回転率を計算していました。閉架とか禁帯出もありますが各館随分ばらつきが数値として見えてきます。一つ次のビジョンに分館ごとの方針・目標が書かれていますので、そこをどういうふうの評価していくのかというのがポイントだったのかなと思ひます。

もう一つが先ほど司書の研修とかエプロンシアターなどがありましたがあつたが、やはり課題としてさいたま市として司書職というのをどう持っていくのかということだと思ひます。やはりこれから司書として、専門職を採用していくというのを教育委員会なり市役所の方にどう働きかけていくのかというのが、これから大きく課題になっていくのかと。さいたま市は25館もありますので、市として図書館をきちんと教育機関として運営していく。それであれば司書という採用をきちんと継続していくというのを求められるのではないかと思ひます。あとやはり協議会が一時間半というのはちょっと短い感じがしますので、二時間ぐらい協議会の時間があると各委員の皆さんもご発言できるのかなと思ひます。感想ということになりますのでお答えはなくても大丈夫です。

馬場委員長

はい、ありがとうございます。他に何かありますでしょうか。大丈夫でしょうか。

各委員

(特に意見なし)

馬場委員長

それではですね、いろいろ課題も残りましたが、随時検討していただくということにしまして、本日は以上をもちまして予定しておりました議事を終了したいと思います。

長時間にわたりましてご審議いただきまして、誠にありがとうございます。それでは本日の会議を終了したいと思います。進行を事務局にお返ししますのでよろしくお願ひします。

4 閉会

中央図書館副館長 馬場委員長ありがとうございました。本日は委員の皆様方から貴重な御意見をいただきまして、誠にありがとうございました。ここで今年度最後の図書館協議会ということで中央図書館長より御挨拶を申し上げます。

中央図書館長 本日は貴重な御意見をいただきまして誠にありがとうございました。委員の皆様におかれましてはくれぐれも健康に御留意され、来年度も引き続きさいたま市図書館の発展のため御指導、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。ここで、大変恐縮ではございますが、この場をお借りいたしまして、今年度をもちまして退職する館長を報告させていただきます。中央図書館長私尾崎と、中央図書館副館長森山、資料サービス課長水澤、岩槻図書館館長茅野、桜図書館長佐藤、北図書館長高橋の6名です。大変お世話になり、ありがとうございました。

中央図書館副館長 では以上を持ちまして、第3回図書館協議会を閉会いたします。お帰りの際、通勤手当等申告書をお持ちの方は事務局にご提出をお願いいたします。以上です。